

PCT

世界知的所有権機関
国際事務局
特許協力条約に基づいて公開された国際出願



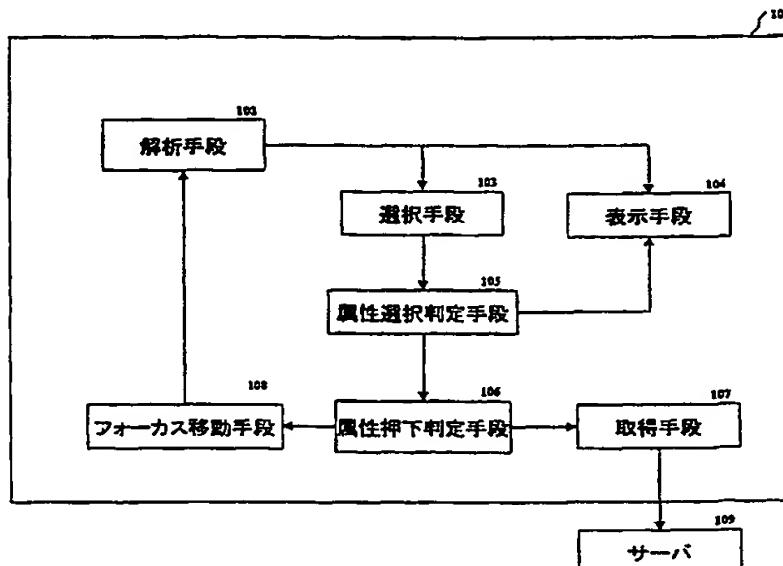
(51) 国際特許分類7 G06F 3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30, 3/16	A1	(11) 国際公開番号 WO00/38043
		(43) 国際公開日 2000年6月29日(29.06.00)
(21) 国際出願番号 PCT/JP99/07173		
(22) 国際出願日 1999年12月21日(21.12.99)		
(30) 優先権データ 特願平10/362919 1998年12月21日(21.12.98)	JP	菱田利浩(HISHIDA, Toshihiro)[JP/JP] 〒651-1123 兵庫県神戸市北区ひよどり台三丁目5番地24 Hyogo, (JP) 田中康宣(TANAKA, Yasunori)[JP/JP] 〒559-1118 大阪府高槻市奥天神町二丁目15番10号 Osaka, (JP) 加藤淳展(KATO, Atsunobu)[JP/JP] 〒243-0411 神奈川県海老名市大谷2-1-302 Kanagawa, (JP) 中土昌治(NAKATSUCHI, Masaharu)[JP/JP] 〒221-0861 神奈川県横浜市神奈川区片倉町79-3-401 Kanagawa, (JP) 大関江利子(OOSEKI, Eriko)[JP/JP] 〒239-0847 神奈川県横須賀市光の丘6-1-704 Kanagawa, (JP)
(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 松下電器産業株式会社 (MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.) [JP/JP] 〒571-0050 大阪府門真市大字門真1006番地 Osaka, (JP) 松下通信工業株式会社 (MATSUSHITA COMMUNICATION INDUSTRIAL CO., LTD.)[JP/JP] 〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 Kanagawa, (JP) エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社 (NTT MOBILE COMMUNICATION NETWORK, INC.) [JP/JP] 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目10番1号 Tokyo, (JP)		(74) 代理人 弁理士 萩野 平, 外(HAGINO, Taira et al.) 〒107-6028 東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル28階 栄光特許事務所 Tokyo, (JP)
(72) 発明者 ; および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 秦 秀彦(SHIN, Hidehiko)[JP/JP] 〒570-0032 大阪府守口市菊水通一丁目16番22-222号 Osaka, (JP)		(81) 指定国 CN, US, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE)
		添付公開書類 国際調査報告書

(54) Title: HYPERTEXT DISPLAY DEVICE

(54) 発明の名称 ハイパーテキスト表示装置

(57) Abstract

Anchor information is extracted by analyzing a hypertext document using analyzing means. If a button key selection attribute is not imparted to the anchor of the hypertext document, the attribute is imparted automatically by automatic attribute impartation judging means or automatic attribute imparting means. Based on the correlation between the button key selection attribute automatically imparted or imparted to the hypertext document and the anchor information, according to the anchor information correlated with the button key selection attribute corresponding to the button key input or speech input, the data is acquired or focus is moved, allowing the corresponding anchor to be easily selected.



101...ANALYZING MEANS
102...SELECTING MEANS
103...DISPLAYING MEANS
104...ATTRIBUTE SELECTION
JUDGING MEANS

105...FOCUS MOVING MEANS
106...ATTRIBUTE PUSH-DOWN
JUDGING MEANS
107...ACQUIRING MEANS
108...SERVER

(57)要約

ハイパーテキスト文書を解析手段で解析して、アンカー情報を抽出する。ハイパーテキスト文書のアンカーにボタンキー選択属性が付与されていなければ属性自動付与判定手段及び属性自動付与手段により自動的に付与する。自動付与又はハイパーテキスト文書に付与されていたボタンキー選択属性とアンカー情報との対応付けに基づき、ボタンキー入力又は音声入力と合致するボタンキー選択属性に対応付けられたアンカー情報に従って、データの取得又はフォーカスの移動を行うことにより、対応するアンカーを簡単に選ぶことができる。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE アラブ首長国連邦	DM ドミニカ	KZ カザフスタン	RU ロシア
AG アンティグア・バーブーダ	DZ アルジェリア	LC セントルシア	SD スーダン
AL アルバニア	EE エストニア	LI リヒテンシュタイン	SE スウェーデン
AM アルメニア	ES スペイン	LK スリ・ランカ	SG シンガポール
AT オーストリア	FI フィンランド	LR リベリア	SI スロヴェニア
AU オーストラリア	FR フランス	LS レント	SK スロヴァキア
AZ アゼルバイジャン	GA ガボン	LT リトアニア	SL シエラ・レオネ
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB 英国	LU ルクセンブルグ	SN セネガル
BB バルバドス	GD グレナダ	LV ラトヴィア	SZ スワジランド
BE ベルギー	GE グルジア	MA モロッコ	TD チャード
BF ブルキナ・ファソ	GH ガーナ	MC モナコ	TG トーゴー
BG ブルガリア	GM ガンビア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BJ ベナン	GN ギニア	MG マダガスカル	TM トルクメニスタン
BR ブラジル	GR ギリシャ	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR トルコ
BY ベラルーシ	GW ギニア・ビサオ	共和国	TT トリニダッド・トバゴ
CA カナダ	HR クロアチア	ML マリ	TZ タンザニア
CF 中央アフリカ	HU ハンガリー	MN モンゴル	UA ウクライナ
CG コンゴー	ID インドネシア	MR モーリタニア	UG ウガンダ
CH スイス	IE アイルランド	MW マラウイ	US 米国
CI コートジボアール	IL イスラエル	MX メキシコ	UZ ウズベキスタン
CM カメルーン	IN インド	MZ モザンビーク	VN ウェトナム
CN 中国	IS アイスランド	NE ニジェール	YU ユーロースラヴィア
CR コスタ・リカ	IT イタリア	NL オランダ	ZA 南アフリカ共和国
CU キューバ	JP 日本	NO ノルウェー	ZW ジンバブエ
CY キプロス	KE ケニア	NZ ニュージーランド	
CZ チェコ	KG キルギスタン	PL ポーランド	
DE ドイツ	KP 北朝鮮	PT ポルトガル	
DK デンマーク	KR 韓国	RO ルーマニア	

明細書

ハイパーテキスト表示装置

5 技術分野

本発明は、ハイパーテキスト表示装置に関し、特に、ハイパーテキスト文書の選択したいアンカー情報にまでフォーカスを移動できるハイパーテキスト表示装置に関する。

10 背景技術

従来のハイパーテキスト表示装置においては、表示させたいハイパーテキスト文書にアンカー情報が含まれる場合、選択したいアンカー情報が位置する場所までフォーカスを移動し、アンカー情報を選択するようになっている。

ハイパーテキスト文書（H T M L 文書）は、ハイパーテキスト・マークアップ言語(Hyper Text Markup Language)で記述された文書であり、タグによりレイアウト情報等が指定され、ブラウザがこのタグを解釈して表示する。H T M L 文書の中に、他のテキストや画像や音声を挿入でき、H T M L 文書を、画像や他のH T M L 文書にリンクさせることもできる。リンク先を表示する位置をアンカーポイントといい、アンカーポイントを示す図形をアンカーという。H T M L 文書中に種々のアンカーポイントを設定しておけば、アンカーポイントにリンクされた位置へ移動することができる。

表示画面上のアンカーポイントをマウスカーソルなどで指示することを、アンカーポイントを選択するという。リモコン上の移動キー等を用いて、H T M L 文書の複数のアンカーポイントを順番に指定していくこともある。このように、アンカーポイントにポインタを持ってくることをフォーカスと呼ぶ。現在表示中のH T M L 文書においてフォーカスされているアンカーポイントの位置をフォーカス位置ともいう。

近年の機器の小型化にともない、小画面において、アンカー情報に含まれる属性を利用してアンカー情報の制御が行なわれるようになってきた。特開平 10-293

767号公報には、アンカーポイントに対するフォーカスの移動指示時に、特定のアンカーポイントをスキップする表示制御方法が開示されている。これは、ユーザの指示に応じて、HTML文書に含まれる複数のアンカーポイントに対して、フォーカスを順方向または逆方向に順次移動させて行き、フォーカスを移動させていく際に、フォーカスをスキップする属性が付加されたアンカーポイントについては、フォーカスを行なうことなくスキップするものである。

しかし、従来のハイパーテキスト表示装置においては、選択したいアンカーが位置する場所までフォーカスを移動して、アンカーを選択しなければならない。画面が小さくて選択装置が簡単な携帯型情報端末においては、ユーザが選択したいアンカーにまでフォーカスを移動させるために、何回も選択装置を操作する必要があり、ユーザにとって利便性が悪いという問題があった。

本発明は、上記従来の問題を解決し、一回の操作で目的のアンカーを選択できるハイパーテキスト表示装置を提供することを目的とする。

15 発明の開示

上記課題を解決するために、本発明では、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置を、ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいてハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、選択手段と解析手段との出力に基づいて、選択手段に対応する属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段と、属性選択判定手段の出力に基づいて、選択手段に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、属性押下判定手段の出力に基づいて、アンカー情報が示すデータをサーバから取得する取得手段とを具備する構成とした。

25 このように構成したことにより、選択手段対応のアンカーのみを選んでデータを表示することができる。

また、選択手段によって選択されたアンカー情報が指定するハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動させるフォーカス移動手段を備えた。このように構成したことにより、選択手段対応のアンカーのみにフォーカスを移動させる

ことができる。

また、選択手段を、ユーザがボタンキーを押下することによってハイパーテキストのアンカーを選択する手段とした。このように構成したことにより、ボタンキー対応のアンカーのみを選ぶことができる。

5 また、選択手段を、ユーザが音声を利用することによってハイパーテキストのアンカーを選択する手段とした。このように構成したことにより、音声指令対応のアンカーのみを選ぶことができる。

また、ユーザの指示に基づいてハイパーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、属性自動付加判定手段の出力に基づいて、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタンキー選択属性を上から順に自動的に付加する属性自動付加手段と、解析手段とボタンキー選択手段との出力に基づいて、ボタンキー選択属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを設けた。

10 このように構成したことにより、選択的にボタンキー対応属性をアンカーに付与して、対応するアンカーのみを選ぶことができる。

また、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタンキー選択属性を表示されている順に自動的に付加する属性自動付加手段を設けた。このように構成したことにより、ボタンキー対応のアンカーのみを表示順に選ぶことができる。

20 本発明は、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記選択手段と前記解析手段との出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段と、前記属性選択判定手段の出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、前記属性押下判定手段の出力に基づいて、前記アンカー情報が示すデータをサーバから取得する取得手段とを具備するハイパーテキス

ト表示装置であり、選択手段に対応するアンカーのみを選んで押下を判定してデータをサーバから取得するという作用を有する。

さらに、本発明は、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記選択手段と前記解析手段との出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、前記属性押下判定手段の出力に基づいて、前記選択手段によって選択されたアンカー情報が指定するハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動させるフォーカス移動手段とを具備するハイパーテキスト表示装置であり、選択手段に対応するアンカーのみを選んでフォーカスを移動させるという作用を有する。

また、前述のハイパーテキスト表示装置において、前記選択手段は、ユーザがボタンキーを押下することによって前記ハイパーテキストのアンカーを選択する手段であるものであり、ボタンキー対応のアンカーのみを選んでフォーカスを移動させ押下を判定してデータをサーバから取得するという作用を有する。

また、前述のハイパーテキスト表示装置において、前記選択手段は、ユーザが音声を利用することによって前記ハイパーテキストのアンカーを選択する手段であるものであり、音声指示対応のアンカーのみを選んでフォーカスを移動させ押下を判定してデータをサーバから取得するという作用を有する。

さらに、本発明は、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、解析の結果、前記ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、前記ハイパーテキスト文書の前記アンカー情報にボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、前記属性自動付加判定手段の出力に基づいて、前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を上から順に自動的に付加する属性自動付加手段と、前記解析手段と前記ボタンキー選択手段

との出力に基づいて、前記ボタンキー選択属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備するハイパーテキスト表示装置であり、選択的にボタンキー対応属性をアンカーに付与して、ボタンキー対応のアンカーのみを選択可能にするという作用を有する。

5 さらに、本発明は、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザのボタンキー指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記解析手段の出力に基づいて、ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、前記属性自動付加判定手段の結果に基づいて、前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を表示順に自動的に付加する属性自動付加手段と、前記解析手段と前記ボタンキー選択手段との出力に基づいて、前記選択手段と対応する情報を持つ属性を含むアンカー情報が選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備するハイパーテキスト表示装置であり、表示順に選択的にボタンキー対応属性をアンカーに付与して、ボタンキー対応のアンカーのみを選択可能にするという作用を有する。

10

15

20 図面の簡単な説明

図1は、本発明の第1の実施の形態のハイパーテキスト表示装置を示すプロック図である。

図2は、本発明の第1の実施の形態のハイパーテキスト表示装置のシーケンス図である。

25 図3は、本発明の第1の実施の形態のハイパーテキスト表示装置における属性選択判定処理のフローチャート図である。

図4は、本発明の第1の実施の形態のハイパーテキスト表示装置における属性押下判定処理のフローチャート図である。

図5は、本発明の第2の実施の形態のハイパーテキスト表示装置を示すプロック

ク図である。

図6は、本発明の第2の実施の形態のハイパーテキスト表示装置のシーケンス図である。

図7は、本発明の第2の実施の形態のハイパーテキスト表示装置における属性5自動付加判定処理のフローチャート図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施の形態について、図1～図7を参照しながら詳細に説明する。

10 (第1の実施の形態)

本発明の第1の実施の形態は、ハイパーテキスト文書を表示し、ユーザの指示に基づいてハイパーテキスト文書のアンカーを選択し、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出し、選択手段と対応するアンカーが選択、押下された場合に、アンカー情報が示すデータをサーバから取得するハイパーテキスト表示装置である。

図1は、本発明の第1の実施の形態のハイパーテキスト表示装置を示すブロック図である。図1において、ハイパーテキスト表示装置101は、ハイパーテキスト文書を解析して表示する装置である。解析手段102は、ハイパーテキスト文書を解析する手段である。選択手段103は、ハイパーテキスト文書に含まれるアンカ情報を選択する手段である。表示手段104は、解析結果と属性選択判定結果に基づいてハイパーテキスト文書を表示する手段である。属性選択判定手段105は、解析結果をもとに、選択手段に対応する情報を持つ属性を含むアンカ情報が選択されたか否かを判定する手段である。属性押下判定手段106は、属性選択結果をもとに、選択手段に対応する情報を持つ属性を含むアンカ情報が押下されたか否かを判定する手段である。取得手段107は、属性押下判定結果をもとに、アンカ情報が示すデータをサーバから取得する手段である。フォーカス移動手段108は、属性押下判定結果をもとに、アンカ情報が示すハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスの表示を移動させる手段である。サーバ109は、データを提供する装置である。

ハイパーテキスト表示装置 101 は、ハイパーテキスト文書を、解析手段 102 によって解析し、表示手段 104 によって表示する。解析手段 102 は、ハイパーテキスト文書を解析する。選択手段 103 は、ハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報の選択をする。属性選択判定手段 105 は、解析手段 102 の結果をもとに、選択手段 103 に対応する情報を持つ属性を含むアンカー情報が選択されたか否かを判定する。表示手段 104 は、解析手段 102 と属性選択判定手段 105 との結果をもとにハイパーテキスト文書を表示する。属性押下判定手段 106 は、属性選択手段 105 の結果をもとに、選択手段に対応する情報を持つ属性を含むアンカー情報が押下されたか否かを判定する。フォーカス移動手段 108 は、属性押下判定 106 の結果をもとに、アンカー情報が示すハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスの表示を移動させる。取得手段 107 は、属性押下判定 106 の結果をもとに、アンカー情報が示すデータをサーバ 109 から取得する。

上記のように構成された第 1 の実施の形態のハイパーテキスト表示装置の動作について、図 2 のシーケンス図を用いて説明する。ハイパーテキスト表示装置 301 は、ハイパーテキスト文書の解析処理（ステップ 302）を行ない、ハイパーテキスト文書を表示する。

表示処理（ステップ 303）では、ハイパーテキスト文書の解析処理（ステップ 302）の結果に基づいて、ハイパーテキスト文書の表示を行なう。これは、ウェブブラウザの処理と同じである。

選択処理（ステップ 304）では、ボタンキーの押下や、音声認識装置を介した音声による指示情報に基づいて、表示されたハイパーテキスト文書に含まれるアンカーの 1 つを選択する。例えば、ボタンキーの右矢印を押すと、フォーカスが右に移動して、右側の次のアンカーを選択する。例えば、音声で「前」と指示すると、直前に選択されたアンカーにフォーカスを戻す。

属性選択判定処理（ステップ 305）では、選択処理（ステップ 304）の結果に基づいて、アンカー情報に対応する入力がされたか否かを判定する。

属性押下判定処理（ステップ 306）では、ハイパーテキスト文書に記述された情報と属性選択処理（ステップ 304）の結果に基づいて、選択処理（ステップ 304）に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する。判定結果に応じ

て、フォーカス移動処理（ステップ 307）を行なうか、取得処理（ステップ 308）を行なうか判定する。アンカーのポインタが文書内の位置へのリンクであれば、フォーカス移動処理（ステップ 307）を行ない、他の文書へのリンクであれば、取得処理（ステップ 308）を行なう。

5 フォーカス移動処理（ステップ 307）では、属性押下判定処理（ステップ 306）の結果に基づいて、選択処理（ステップ 304）によって選択されたアンカー情報が指定するハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動させる。

10 取得処理（ステップ 308）では、属性押下判定処理（ステップ 306）の結果に基づいて、選択処理（ステップ 304）において選択されたアンカー情報が示すデータをサーバ 310 から取得する。

表示処理（ステップ 309）では、フォーカス移動処理（ステップ 307）の結果に基づいて表示を行なう。

15 次に、第 1 の実施の形態における属性選択判定処理の動作について、図 3 のフローチャートを用いて説明する。属性選択判定処理（ステップ 601）は、選択属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定して、表示するものである。

アンカー情報選択処理（ステップ 602）では、選択属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する。表示処理（ステップ 603）では、ステップ 602 の結果に基づいて表示を行ない、終了（ステップ 604）する。

20 次に、第 1 の実施の形態における属性押下判定処理の動作について図 4 のフローチャートを用いて説明する。属性押下判定処理は、選択属性をもつアンカーが押下された否かを判定し、判定結果に応じてデータ取得処理かフォーカス移動処理を行なうものである。

25 アンカー情報押下判定処理（ステップ 702）では、選択属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する。押下されなければ終了する。

データ取得判定処理（ステップ 703）では、選択属性を保持するアンカー情報が示すデータをサーバから取得するか否かを、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに判定する。

取得処理（ステップ 704）では、選択属性を保持するアンカーが示すデータをサーバから取得し、終了（ステップ 707）する。

フォーカス移動判定処理(ステップ 705)では、ハイパーテキスト文書に記述された情報をもとに、ハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動するか否かを判定する。

5 フォーカス移動処理(ステップ 706)では、ステップ 705 の結果をもとにフォーカスを移動し、終了(ステップ 707)する。

上記のように、本発明の第 1 の実施の形態では、ハイパーテキスト表示装置を、ハイパーテキスト文書を表示し、ユーザの指示に基づいてハイパーテキスト文書のアンカーを選択し、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出し、選択手段と対応するアンカーが選択、押下された場合に、アンカー情報が示すデータをサーバから取得構成としたので、簡単な操作でハイパーテキスト文書のアンカーを選択して目的のデータを表示させることができる。

(第 2 の実施の形態)

本発明の第 2 の実施の形態は、ハイパーテキスト文書を表示し、ユーザのボタンキー操作により、ハイパーテキスト文書のアンカーを選択し、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出し、ボタンキー選択属性を有するアンカー情報が存在しない場合、ハイパーテキスト文書のアンカー情報へボタンキー選択属性を付加するか否か判定して付加し、ボタンキー選択属性をもつアンカーが押下された場合にそのデータを取得して表示するハイパーテキスト表示装置である。

図 5 は、本発明の第 2 の実施の形態のハイパーテキスト表示装置を示すブロック図である。図 5において、ハイパーテキスト表示装置 201 は、ハイパーテキスト文書を解析して表示する装置である。解析手段 202 は、ハイパーテキスト文書を解析する手段である。属性自動付加判定手段 203 は、ボタン選択属性を、自動的にアンカー情報に付加するか否か、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに判定する手段である。属性自動付加手段 204 は、ボタン選択属性をハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報に自動的に付加する手段である。ボタンキー選択手段 205 は、ボタンキーによってハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報を選択する手段である。属性選択判定手段 206 は、ボタンキー選択手段の結果をもとに、ボタン選択属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する手段である。表示手段 207 は、解析手段と属性選択判定手段との結果をもと

に、ハイパーテキスト文書を表示する手段である。

ハイパーテキスト表示装置 201 は、ハイパーテキスト文書を解析手段 202 によって解析し、表示手段 207 によって表示する。属性自動付加判定手段 203 は、ボタン選択属性を、自動的にハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報に付加するか否か、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに判定する。属性自動付加手段 204 は、ボタン選択属性をハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報に自動的に付加する。ボタンキー選択手段 205 は、ボタンキーによってハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報を選択する。属性選択判定手段 206 は、ボタンキー選択手段 205 の結果をもとに、ボタン選択属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する。表示手段 207 は、解析手段 202 と属性選択判定手段 206 との結果をもとに、ハイパーテキスト文書を表示する。

上記のように構成された本発明の第 2 の実施の形態におけるハイパーテキスト表示装置の動作について、図 6 のシーケンス図を用いて説明する。ハイパーテキスト表示装置 401 は、ハイパーテキスト文書の解析処理（ステップ 402）を行ない、ハイパーテキスト文書を表示するものである。

属性自動付加判定処理（ステップ 403）では、ボタンキー選択属性を、ハイパーテキストに自動的に付加するか否か判定する。

属性自動付加処理（ステップ 404）では、ボタンキー選択属性をハイパーテキストに自動的に付加する。

表示処理（ステップ 405）では、解析処理（ステップ 402）と属性選択判定処理（ステップ 403）との結果をもとに、ハイパーテキスト文書を表示する。

ボタンキー選択処理（ステップ 406）では、ボタンキーの押下をもとに、ハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報を選択する。

属性選択判定処理（ステップ 407）では、ボタンキー選択処理（ステップ 406）の結果をもとに、アンカー情報に対応する入力がされたか否かを判定する。

表示処理（ステップ 408）では、解析処理（ステップ 402）と属性選択判定処理（ステップ 403）の結果をもとにハイパーテキスト文書を表示する。

次に、第 2 の実施の形態における属性自動付加判定処理の動作について図 07 のフローチャートを用いて説明する。属性自動付加判定処理（ステップ 501）で

は、ボタン選択属性を自動的にハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報に付加するか否か、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに判定する。

属性付加判定処理（ステップ 502）では、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに、自動的にハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報に付加するか否か、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに判定する。

属性付加判定処理（ステップ 503）では、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに、ハイパーテキスト文書の上から順にボタンキー選択属性をアンカー情報付加するか否かを判定する。

（ステップ 505）では、ハイパーテキスト文書に記述されている情報をもとに、表示画面の上から順にボタンキー選択属性をアンカー情報に付加するか否かを判定する。

属性自動付加処理（ステップ 504）では、ステップ 508 及びステップ 505 の情報をもとに、ハイパーテキスト文書に含まれるアンカー情報にボタンキー選択属性を付加し、終了（ステップ 506）する。

上記のように、本発明の第 2 の実施の形態では、ハイパーテキスト表示装置を、ハイパーテキスト文書を表示し、ユーザのボタンキー操作により、ハイパーテキスト文書のアンカーを選択し、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出し、ボタンキー選択属性を有するアンカー情報が存在しない場合、ハイパーテキスト文書のアンカー情報へボタンキー選択属性を付加するか否か判定して付加し、ボタンキー選択属性をもつアンカーを押下された場合にそのデータを取得して表示する構成としたので、簡単なボタン操作でアンカーを選択、押下して、希望するハイパーテキスト文書を表示させることができる。

産業上の利用可能性

以上のように、本発明では、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置を、ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいてハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、選択手段と解析手段との出力に基づいて、選択手段に対応する属性をもつアンカーが選択されたか否かを

判定する属性選択判定手段と、属性選択判定手段の出力に基づいて、選択手段に
対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、
属性押下判定手段の出力に基づいて、アンカー情報が示すデータをサーバから取
得する取得手段とを具備する構成としたので、選択手段対応のアンカーのみを簡
5 単に選択でき、画面が小さく選択装置が単純な携帯型情報端末においても、簡単に
目的のアンカーを選択してデータを取得することができる。

また、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、
ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいてハイパー
テキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、ハイパーテキスト文書を解析し
10 てアンカー情報を抽出する解析手段と、選択手段と解析手段との出力に基づいて、
選択手段に応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下
判定手段と、属性押下判定手段の出力に基づいて、選択手段によって選択された
アンカー情報が指定するハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動させ
るフォーカス移動手段とを具備する構成としたので、選択手段対応のアンカーの
15 みにフォーカスを移動して簡単に目的のデータを表示することができる。

また、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、
ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいてハイパー
テキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、ハイパーテキスト文
書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、解析の結果、ボタンキー選択
20 属性をもつアンカーが存在しない場合、ハイパーテキスト文書のアンカー情報に
ボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、属性自
動付加判定手段の出力に基づいて、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタ
ンキー選択属性を上から順に自動的に付加する属性自動付加手段と、解析手段と
ボタンキー選択手段との出力に基づいて、ボタンキー選択属性をもつアンカーが
25 選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備する構成としたので、選
択的にボタンキー対応属性をアンカーに付与して、ボタンキー対応のアンカーの
みを簡単に選択することができる。

また、ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、
ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザのボタンキー指示に基づい

てハイパーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、解析手段の出力に基づいて、ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、属性自動付加判定手段の結果に基づいて、ハイパーテキスト文書のアンカー情報にボタンキー選択属性を表示順に自動的に付加する属性自動付加手段と、解析手段とボタンキー選択手段との出力に基づいて、選択手段と対応する情報を持つ属性を含むアンカー情報が選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備する構成としたので、表示順に選択的にボタンキー対応属性をアンカーに付与して、ボタンキー対応のアンカーのみを簡単に選択することができる。

請求の範囲

1. ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記選択手段と前記解析手段との出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段と、前記属性選択判定手段の出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、前記属性押下判定手段の出力に基づいて、前記アンカー情報が示すデータをサーバから取得する取得手段とを具備することを特徴とするハイパーテキスト表示装置。
2. ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択する選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記選択手段と前記解析手段との出力に基づいて、前記選択手段に対応する属性をもつアンカーが押下されたか否かを判定する属性押下判定手段と、前記属性押下判定手段の出力に基づいて、前記選択手段によって選択されたアンカー情報が指定するハイパーテキスト文書内の位置へフォーカスを移動させるフォーカス移動手段とを具備することを特徴とするハイパーテキスト表示装置。
3. 前記選択手段は、ユーザがボタンキーを押下することによって前記ハイパーテキストのアンカーを選択する手段であることを特徴とする請求項1または2に記載のハイパーテキスト表示装置。
4. 前記選択手段は、ユーザが音声を利用することによって前記ハイパーテキストのアンカーを選択する手段であることを特徴とする請求項1または2に記載のハイパーテキスト表示装置。
5. ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザの指示に基づいて前記ハイ

パーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、解析の結果、前記ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、前記ハイパーテキスト文書の前記アンカー情報にボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、前記属性自動付加判定手段の出力に基づいて、前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を上から順に自動的に付加する属性自動付加手段と、前記解析手段と前記ボタンキー選択手段との出力に基づいて、前記ボタンキー選択属性をもつアンカーが選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備することを特徴とするハイパーテキスト表示装置。

5 6. ハイパーテキスト文書を表示するハイパーテキスト表示装置において、前記ハイパーテキスト文書を表示する表示手段と、ユーザのボタンキー指示に基づいて前記ハイパーテキスト文書のアンカーを選択するボタンキー選択手段と、前記ハイパーテキスト文書を解析してアンカー情報を抽出する解析手段と、前記解析手段の出力に基づいて、ボタンキー選択属性をもつアンカーが存在しない場合、

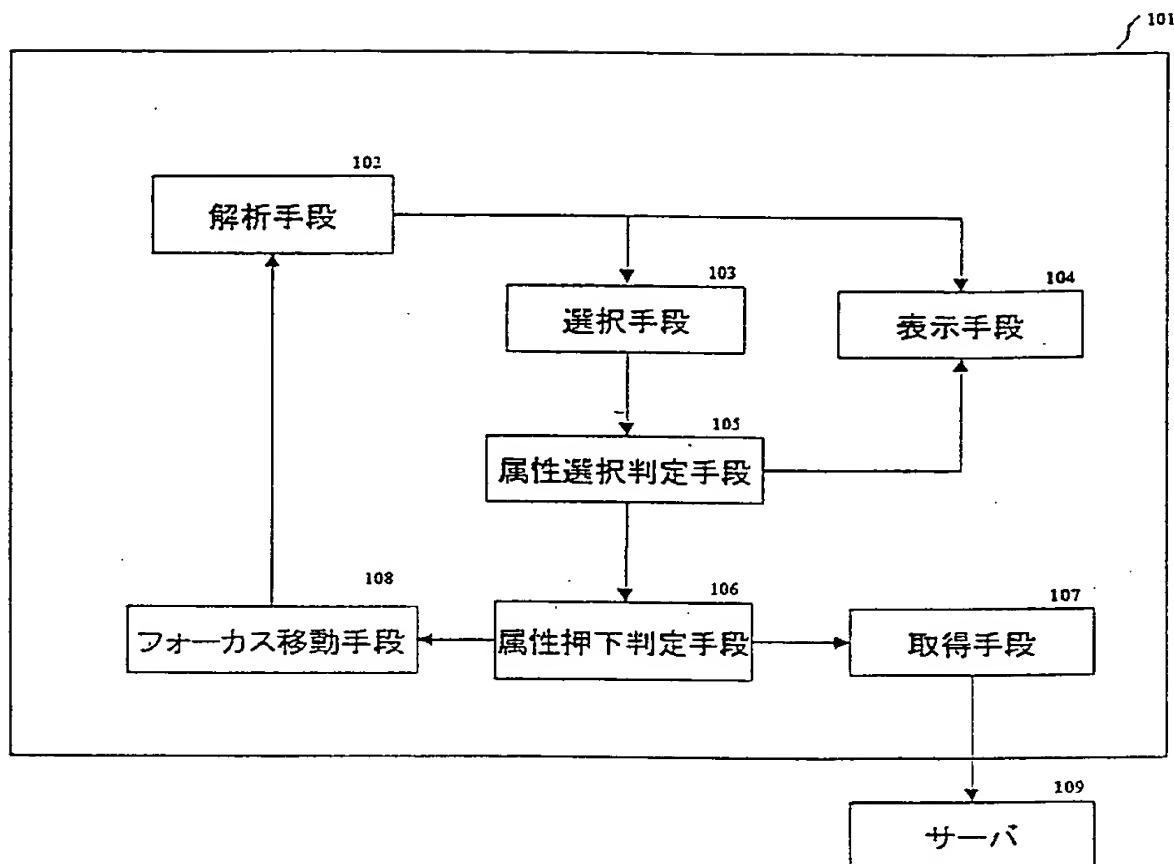
10 前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を付加するか否か判定する属性自動付加判定手段と、前記属性自動付加判定手段の結果に基づいて、前記ハイパーテキスト文書のアンカー情報に前記ボタンキー選択属性を表示順に自動的に付加する属性自動付加手段と、前記解析手段と前記ボタンキー選択手段との出力に基づいて、前記選択手段と対応する情報を持つ属性を含むアンカー情報が選択されたか否かを判定する属性選択判定手段とを具備することを特徴とするハイパーテキスト表示装置。

15

20

THIS PAGE BLANK (USPTO)

図 1



THIS PAGE BLANK (USPTO)

図 2

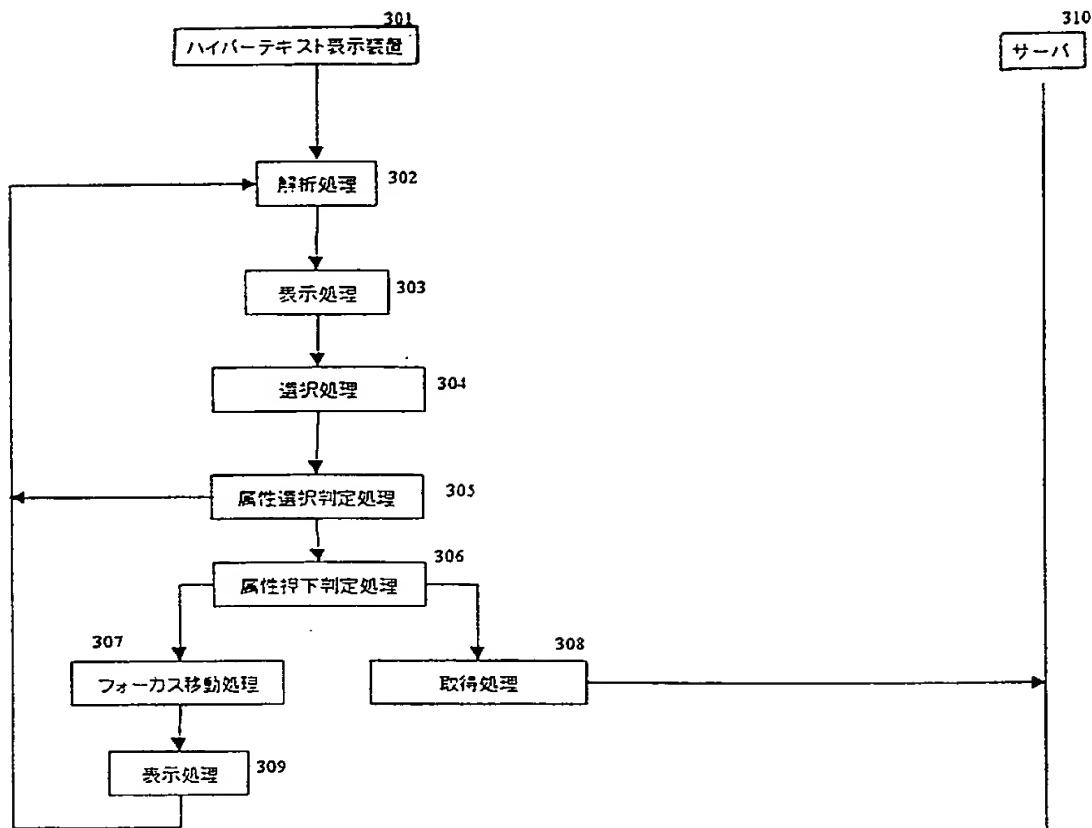
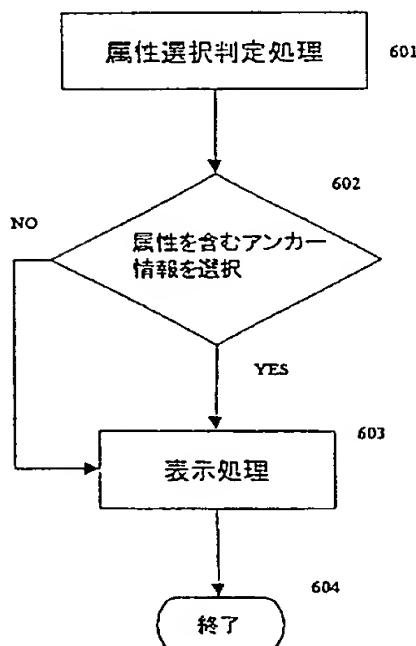
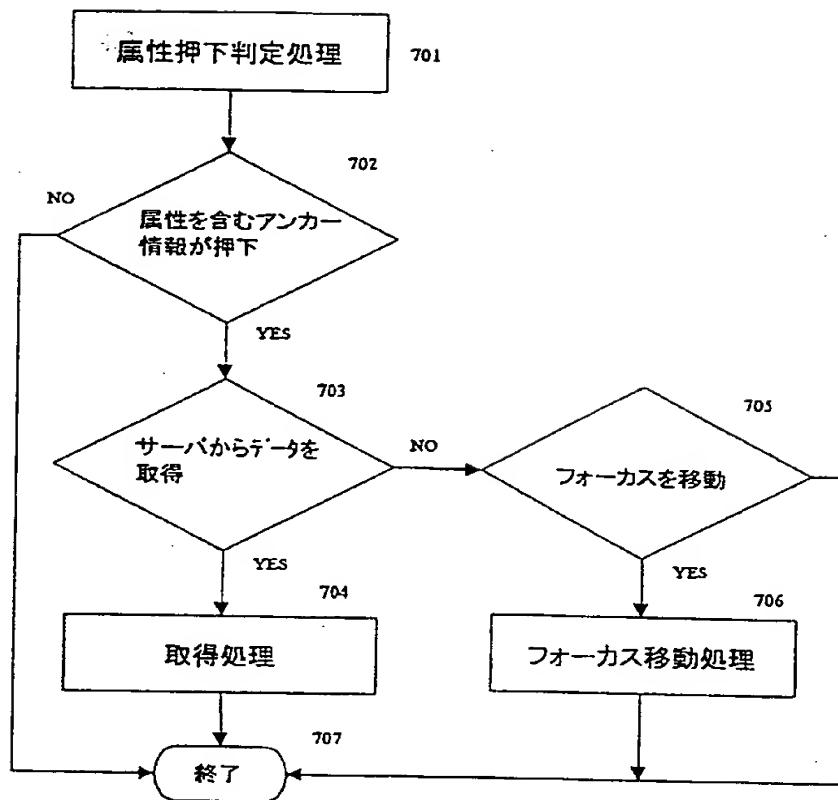


図 3



THIS PAGE BLANK (USPTO)

4



THIS PAGE BLANK (USPTO)

図 5

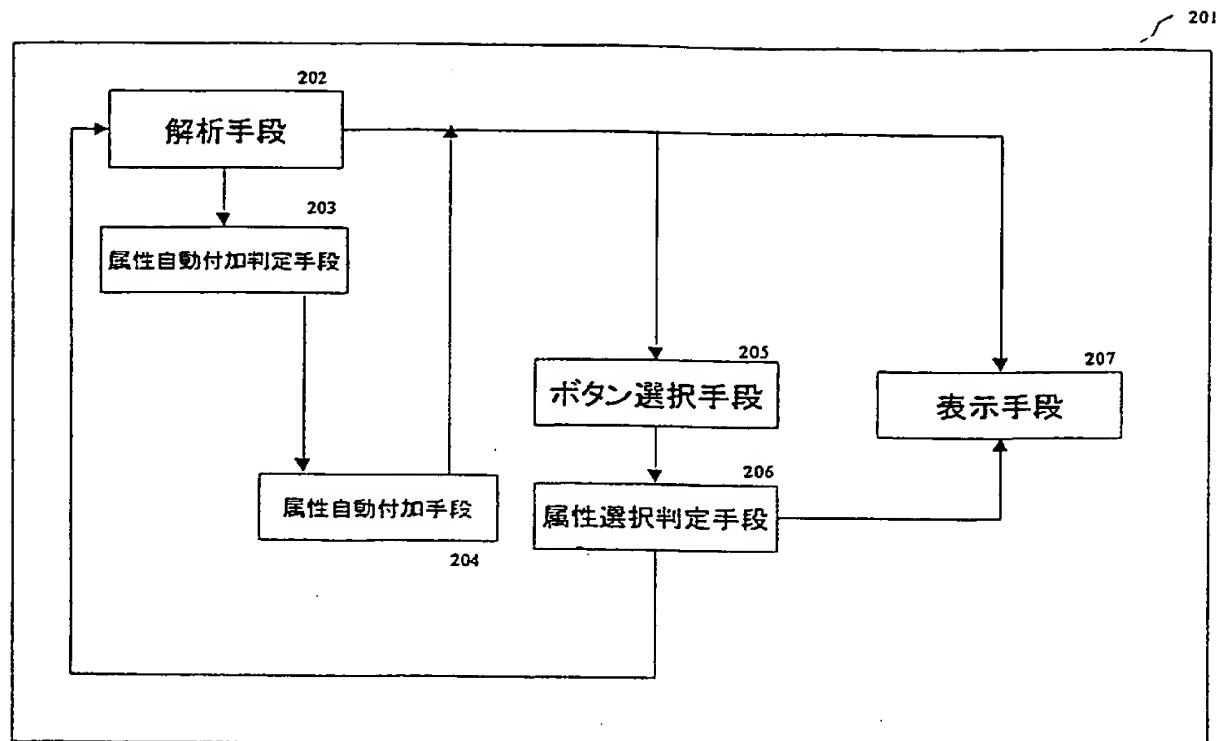
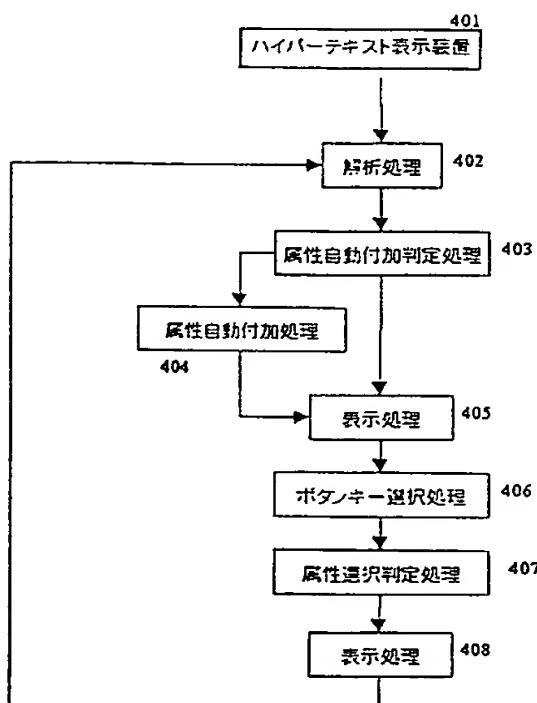
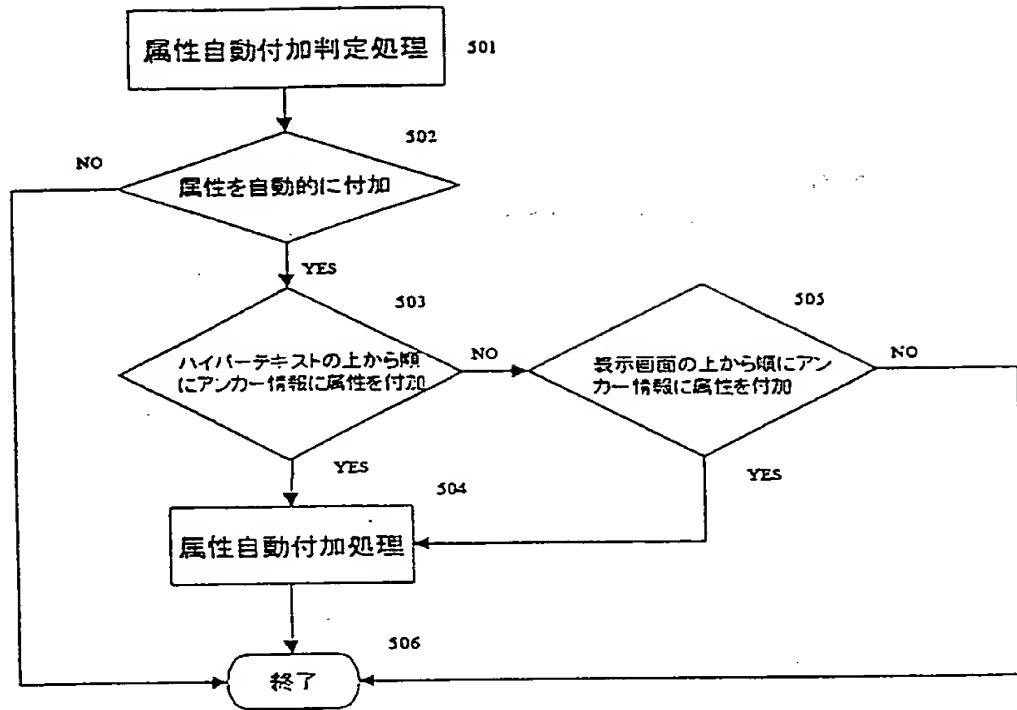


図 6



THIS PAGE BLANK (USPTO)

図 7



THIS PAGE BLANK (USPTO)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/07173

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/16

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/02 - 3/023, 3/16

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2000
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2000 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2000

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 10-39981, A (Hitachi, Ltd.), 13 February, 1998 (13.02.98), [Family: none]	1-3, 5, 6 -
Y		4
X	JP, 10-322478, A (Matsushita Electric Ind. Co., Ltd.), 04 December, 1998 (04.12.98), [Family: none]	5, 6 - 1-4
X	JP, 10-320168, A (International Business Machines Corp.), 04 December, 1998 (04.12.98), [Family: none]	5 - 1-4, 6
X	JP, 10-124293, A (Osaka Gas Co., Ltd.), 15 May, 1998 (15.05.98), [Family: none]	5 - 1-4, 6
Y	Takuya Asada, "Rensai koza, Web wo kiso kara rikai suru accessibility kojo no tame WWW page seisakusha ga koryo subeki ten", Nikkei Internet Technology, No.14, 22 August, 1998 (22.08.98), Nikkei BP K.K. (Tokyo), P.144-149	1-6

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

- * Special categories of cited documents:
- "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- "E" earlier document but published on or after the international filing date
- "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

- "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
- "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
- "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
- "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
01 March, 2000 (01.03.00)

Date of mailing of the international search report
14 March, 2000 (14.03.00)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/07173

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	Masshiano Chakku, "Web Master 28 HTML4.0 wo tsukaikonasu [Part 2]", Sun World, Vol.8, No.8, 01 August, 1998 (01.08.98), Kabushiki Kaisha IDG Communications (Tokyo), P.91-93	1-6
Y	Hironobu Suzuki, "Sokuho! Sarani power up shita HTML4.0", Software Design, No.89, 18 March, 1998 (18.03.98), Kabushiki Kaisha Gijutsu Hyoronsha (Tokyo), P.78-81	1-6
Y	M. Sasaki, "Keitai tanmatsu muke kijutsu gengo", Nikkei Internet Technology, No.12, 01 December, 1997 (01.12.97), Nikkei BP K.K. (Tokyo), P.106-113	1-6

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/07173

Box I Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 1 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. Claims Nos.: because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:

2. Claims Nos.: because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:

3. Claims Nos.: because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

Box II Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 2 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

The inventions of claims 5 and 6 relate to the behavior of a hypertext display device wherein no anchor having a button key selection attribute exists, and are not so linked with the invention of claim 1 relating to the behavior of a hypertext display device wherein an anchor having a button key selecting attribute exists as to form a single general inventive concept.

1. As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.

2. As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.

3. As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:

4. No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

The additional search fees were accompanied by the applicant's protest.

No protest accompanied the payment of additional search fees.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl' G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/16

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl' G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/02 - 3/023, 3/16

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2000年
日本国登録実用新案公報	1994-2000年
日本国実用新案登録公報	1996-2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X — Y	J P, 10-39981, A (株式会社日立製作所), 13. 2 月. 1998 (13. 02. 98) [ファミリ無し]	1-3, 5, 6 — 4
X — Y	J P, 10-322478, A (松下電器産業株式会社), 4. 1 2月. 1998 (04. 12. 98) [ファミリ無し]	5, 6 — 1-4
X — Y	J P, 10-320168, A (インターナショナル ビジネス マシーンズ コーポレーション), 4. 12月. 1998 (04. 12. 98) [ファミリ無し]	5 — 1-4, 6

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日 01. 03. 00	国際調査報告の発送日 14 March 2000 (14.03.00)
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 井出 和水 印

電話番号 03-3581-1101 内線 3521

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP99/07173

C(続き) 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X - Y	JP, 10-124293, A (大阪瓦斯株式会社), 15. 5 月. 1998 (15. 05. 98) [ファミリ無し]	5 - 1-4, 6
Y	日経インターネットテクノロジー, 第14号, 22. 8月. 1998 (22. 08. 98), 日経BP社(東京), あさだたくや, 石川雅康, 「連載講座 Webを基礎から理解する(最終回)アクセシビリティ向上のためWWWページ制作者が考慮すべき点」, P. 144-149	1-6
Y	Sun World, Vol. 8, No. 8, 1. 8月. 1998 (01. 08. 98), 株式会社IDGコミュニケーションズ(東京), マッシャー／チャック, 「Webマスター28 HTML4.0を使いこなす【Part 2】」, P. 91-93	1-6
Y	Software Design, 第89号, 18. 3月. 1998 (18. 03. 98), 株式会社技術評論社(東京), すずきひろのぶ, 「速報! さらにパワーアップしたHTML4.0」, P. 78-81	1-6
Y	日経インターネットテクノロジー, 第12号, 1. 12月. 1997 (01. 12. 97), 日経BP社(東京), 佐々木元也, 「携帯端末向け記述言語」, P. 106-113	1-6

第I欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見 (第1ページの2の続き)

法第8条第3項 (PCT 17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. 請求の範囲 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であって PCT 規則 6.4(a) の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第II欄 発明の単一性が欠如しているときの意見 (第1ページの3の続き)

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

請求の範囲第5項及び6項に記載された発明は、いずれもボタンキー選択属性を持つアンカーが存在しない場合におけるハイパーテキスト表示装置の振る舞いに関するものであり、請求の範囲1に記載された、属性を持つアンカーに対するハイパーテキスト表示装置の振る舞いとは、単一の一般的発明概念を形成しているとはいえない。

1. 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

特許協力条約

PCT

EP



国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)
 [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 P-33930	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220)及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP99/07173	国際出願日 (日.月.年) 21.12.99	優先日 (日.月.年) 21.12.98
出願人(氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。
 この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 5 ページである。

この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。
 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。
 この国際出願に含まれる書面による配列表

この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表

出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第I欄参照)。

3. 発明の単一性が欠如している(第II欄参照)。

4. 発明の名称は 出願人が提出したものと承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は 出願人が提出したものと承認する。

第III欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1ヶ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、
 第 1 図とする。 出願人が示したとおりである.

なし

出願人は図を示さなかった。

本図は発明の特徴を一層よく表している。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

第I欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見（第1ページの2の続き）

法第8条第3項（PCT17条(2)(a)）の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。

1. 請求の範囲 _____ は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。つまり、
2. 請求の範囲 _____ は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. 請求の範囲 _____ は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に従って記載されていない。

第II欄 発明の単一性が欠如しているときの意見（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。

請求の範囲第5項及び6項に記載された発明は、いずれもボタンキー選択属性を持つアンカーが存在しない場合におけるハイパーテキスト表示装置の振る舞いに関するものであり、請求の範囲1に記載された、属性を持つアンカーに対するハイパーテキスト表示装置の振る舞いとは、単一の一般的発明概念を形成しているとはいえない。

1. 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

追加調査手数料の異議の申立てに関する注意

追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

第III欄 要約（第1ページの5の続き）

ハイパーテキスト文書を解析手段で解析して、アンカー情報を抽出する。ハイパーテキスト文書のアンカーにボタンキー選択属性が付与されていなければ属性自動付与判定手段及び属性自動付与手段により自動的に付与する。自動付与又はハイパーテキスト文書に付与されていボタンキー選択属性とアンカー情報との対応付けに基づき、ボタンキー入力又は音声入力と合致するボタンキー選択属性に対応付けられたアンカー情報に従って、データの取得又はフォーカスの移動を行うことにより、対応するアンカーを簡単に選ぶことができる。

THIS PAGE BLANK (USPTO)

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl' G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/16

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl' G06F3/14, 3/00, 13/00, 12/00, 17/30
G06F3/02 - 3/023, 3/16

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-2000年
日本国登録実用新案公報 1994-2000年
日本国実用新案登録公報 1996-2000年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X — Y	JP, 10-39981, A (株式会社日立製作所), 13. 2 月. 1998 (13. 02. 98) [ファミリ無し]	1-3, 5, 6 — 4
X — Y	JP, 10-322478, A (松下電器産業株式会社), 4. 1 2月. 1998 (04. 12. 98) [ファミリ無し]	5, 6 — 1-4
X — Y	JP, 10-320168, A (インターナショナル ビジネス マシーンズ コーポレーション), 4. 12月. 1998 (04. 12. 98) [ファミリ無し]	5 — 1-4, 6

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す
もの「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日
以後に公表されたもの「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行
日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する
文献 (理由を付す)

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって
出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理
論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明
の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以
上の文献との、当業者にとって自明である組合せに
よって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

01. 03. 00

国際調査報告の発送日

14.03.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

井出 和水

5 E 9072



電話番号 03-3581-1101 内線 3521

THIS PAGE BLANK (USPTO)

C (続き) 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	J P, 10-124293, A (大阪瓦斯株式会社), 15. 5 月. 1998 (15. 05. 98) [ファミリ無し]	5
—		—
Y		1-4, 6
Y	日経インターネットテクノロジー, 第14号, 22. 8月. 1998 (22. 08. 98), 日経BP社(東京), あさだたくや, 石川雅康, 「連載講座 Webを基礎から理解する(最終回)アクセシビリティ向上のためWWWページ制作者が考慮すべき点」, P. 144-149	1-6
Y	Sun World, Vol. 8, No. 8, 1. 8月. 1998 (01. 08. 98), 株式会社IDGコミュニケーションズ(東京), マッシャーイノ チャック, 「Webマスター28 HTML4.0を使いこなす【Part 2】」, P. 91-93	1-6
Y	Software Design, 第89号, 18. 3月. 1998 (18. 03. 98), 株式会社技術評論社(東京), すずきひろのぶ, 「速報!さらにパワーアップしたHTML4.0」, P. 78-81	1-6
Y	日経インターネットテクノロジー, 第12号, 1. 12月. 1997 (01. 12. 97), 日経BP社(東京), 佐々木元也, 「携帯端末向け記述言語」, P. 106-113	1-6

THIS PAGE BLANK (USPTO)